

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・野菜を育てる際に、自分が育てたい野菜を決め、意欲をもたせることができた。また、野菜の種類ごとに葉の形や色などを比較して観察したことで、野菜や植物への関心が高まった。 ・植物の観察では、ピクチャーキッズを使用することで、文章や表記の訂正、書き直しなどがしやすくなった。また、植物の様子を写真で記録したので、天候に関係なく、じっくり観察したり、前回と比べたりして観察の視点をたくさんもつことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・天候（雨天、暑さ等）によって、屋外での観察や植物の世話ができる時間が限られ、触ったり、においをかいだり、わき芽を取ったり雑草を抜いたりすることが十分にできなかったこと。 ・異学年での直接的な交流をもつことが難しかったこと。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・児童の活動を通して気付きが生まれるよう、植物の観察であれば、観察の前に観察のポイントを知らせる。育てている植物等の様子を写真で撮影し、その後室内でじっくり見て、その成長にあった世話の仕方があることに気付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜や植物の育つ場所や変化や成長の様子を予想したり、調べたり、比べたりして表現できるように、ICT 機器の活用の仕方を工夫する（写真を共有して見たり、拡大したりして見る。図鑑をタブレットで共有する等）。 ・動画や写真等を利用して異学年とやりとりができるようにICT 機器を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元のはじめに、児童が学習意欲をもつような導入や発問を考える（普段食べている野菜も植物だという話をしたり、どのようになっているかを写真で見せたりする）。 ・自分たちが1年生のころに上級生にどう関わってもらったか思い出したり、どんなことをしてあげると相手が喜ぶかを考えたりする時間をもつ。